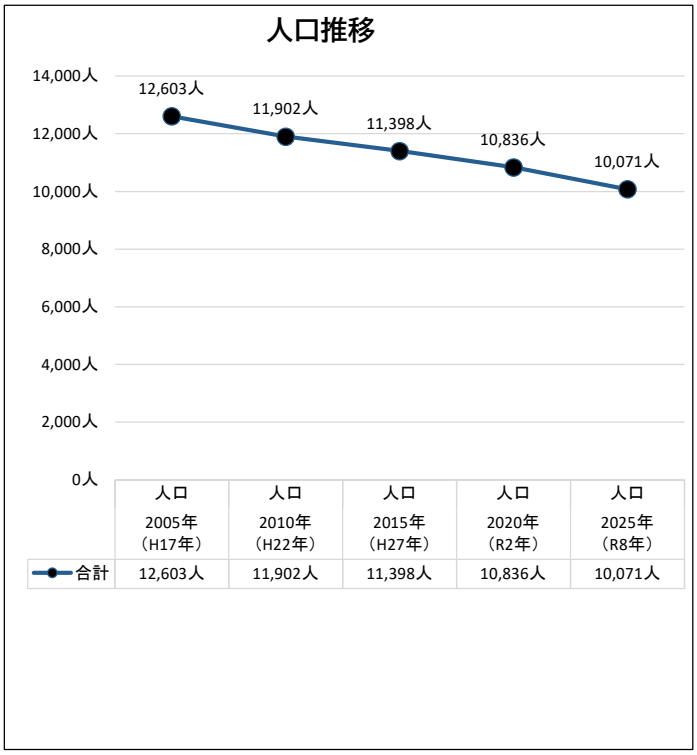
町政の現状と課題

令和８年区長協議会定例会（４月）資料

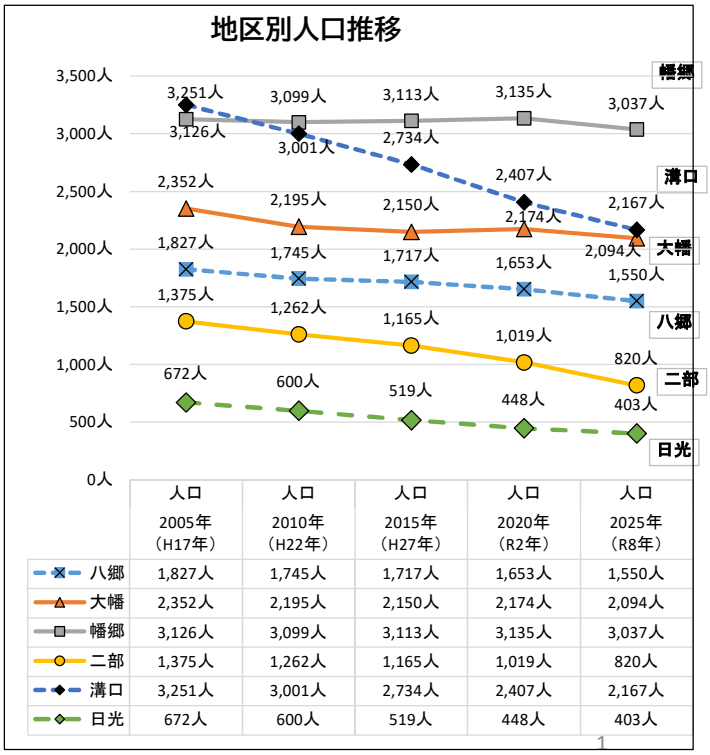
伯耆町

1.町の現状

1-(1)人口・地区別人口の推移(各年度4月1日現在)

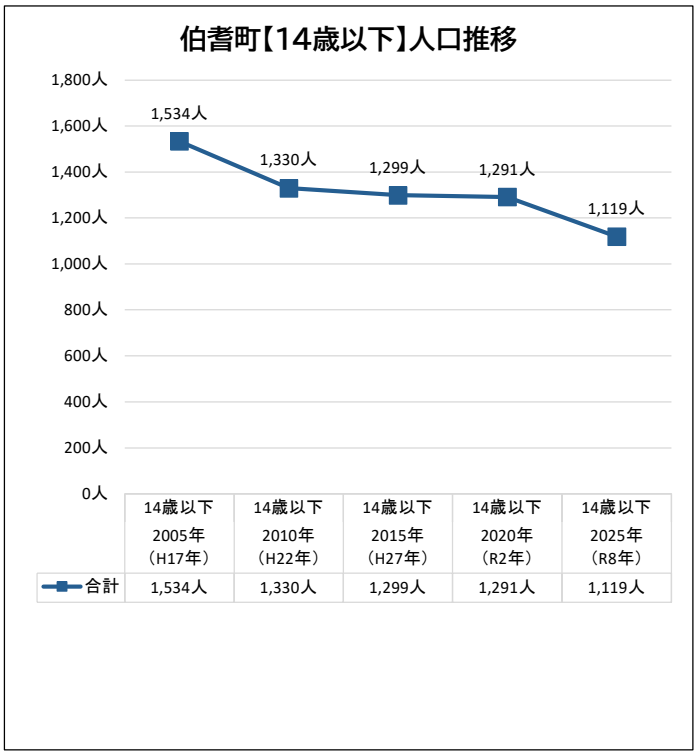


	人口 2005年 (H17年)	人口 2010年 (H22年)	人口 2015年 (H27年)	人口 2020年 (R2年)	人口 2025年 (R8年)
合計	12,603人	11,902人	11,398人	10,836人	10,071人

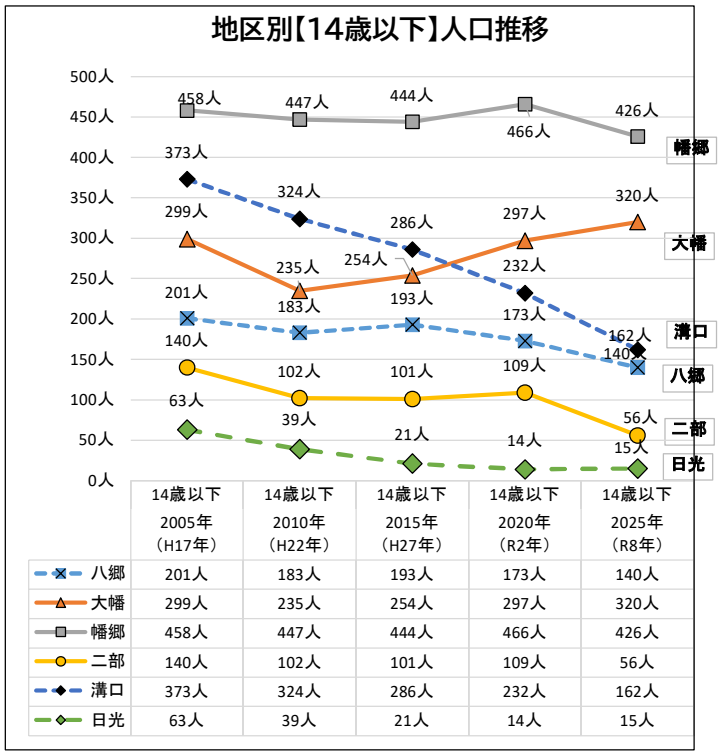


	人口 2005年 (H17年)	人口 2010年 (H22年)	人口 2015年 (H27年)	人口 2020年 (R2年)	人口 2025年 (R8年)
八郷	1,827人	1,745人	1,717人	1,653人	1,550人
大幡	2,352人	2,195人	2,150人	2,174人	2,094人
幡郷	3,126人	3,099人	3,113人	3,135人	3,037人
二部	1,375人	1,262人	1,165人	1,019人	820人
溝口	3,251人	3,001人	2,734人	2,407人	2,167人
日光	672人	600人	519人	448人	403人

1-(2)地域別・年齢階層別人口構成の推移(14歳以下)

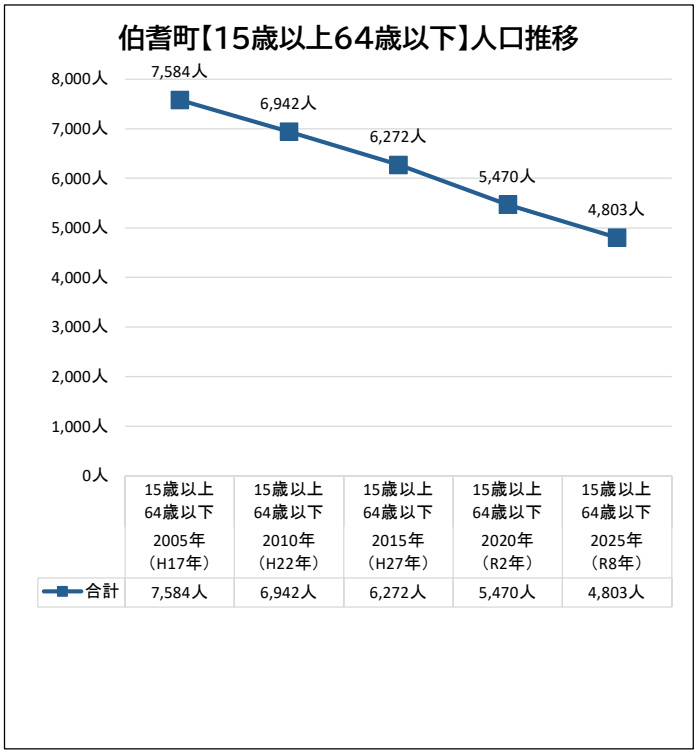


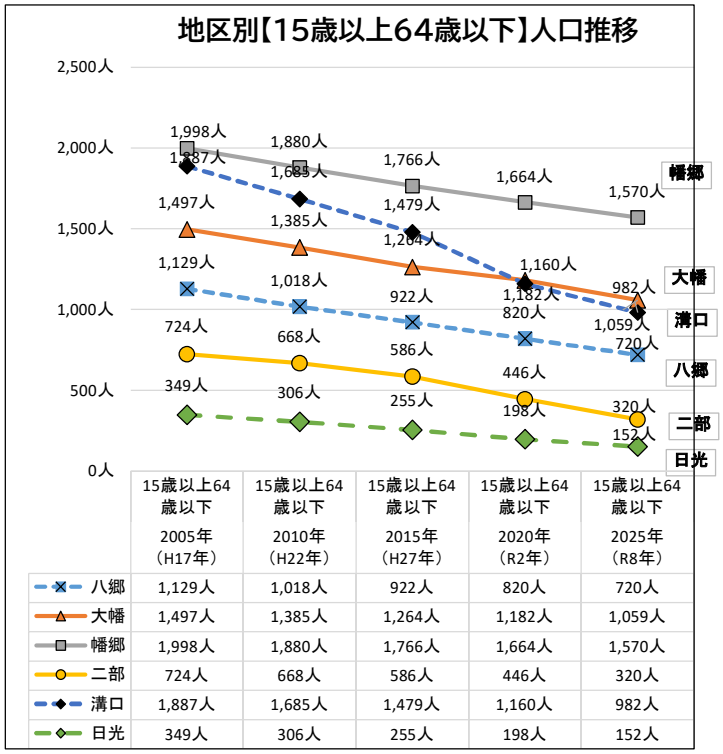
	14歳以下 2005年 (H17年)	14歳以下 2010年 (H22年)	14歳以下 2015年 (H27年)	14歳以下 2020年 (R2年)	14歳以下 2025年 (R8年)
合計	1,534人	1,330人	1,299人	1,291人	1,119人



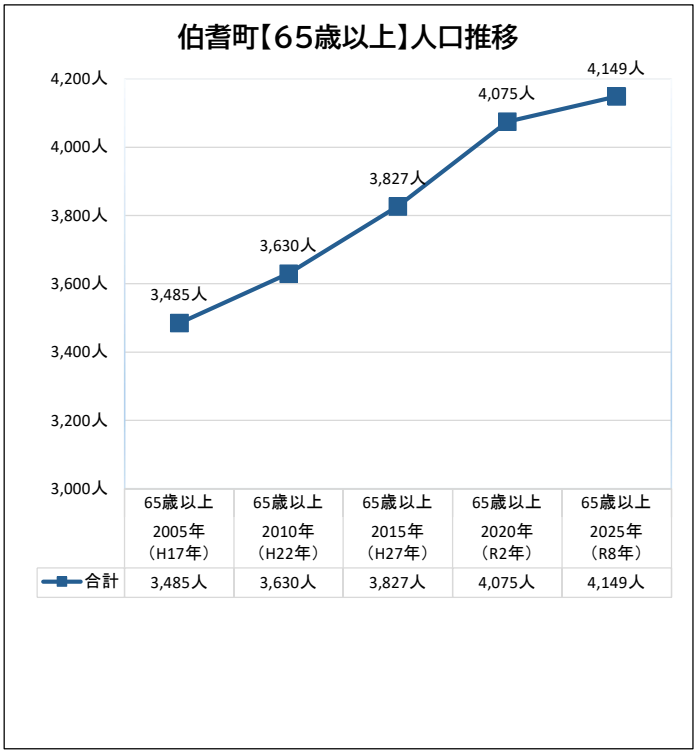
	14歳以下 2005年 (H17年)	14歳以下 2010年 (H22年)	14歳以下 2015年 (H27年)	14歳以下 2020年 (R2年)	14歳以下 2025年 (R8年)
八郷	201人	183人	193人	173人	140人
大幡	299人	235人	254人	297人	320人
幡郷	458人	447人	444人	466人	426人
二部	140人	102人	101人	109人	56人
溝口	373人	324人	286人	232人	162人
日光	63人	39人	21人	14人	15人

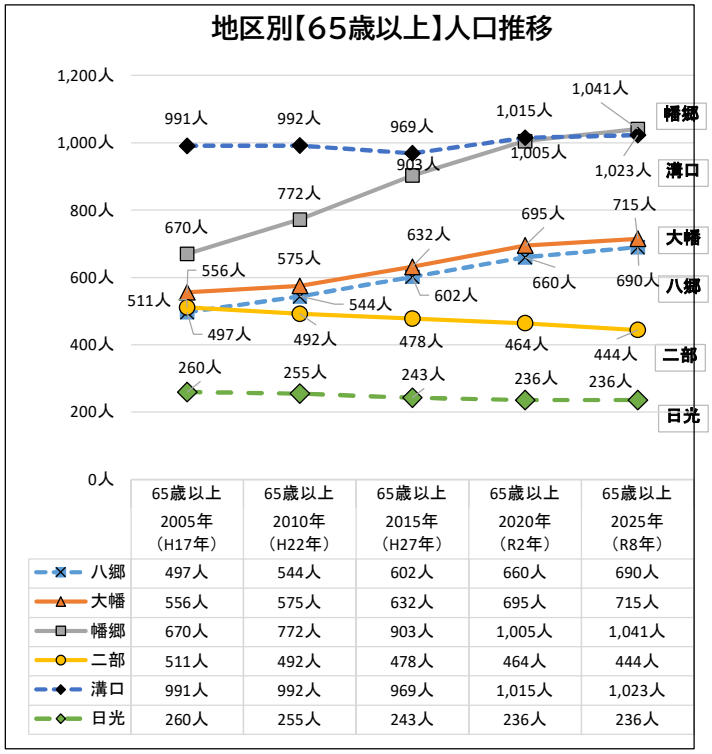
1-(3)地域別・年齢階層別人口構成の推移(15歳以上64歳以下)



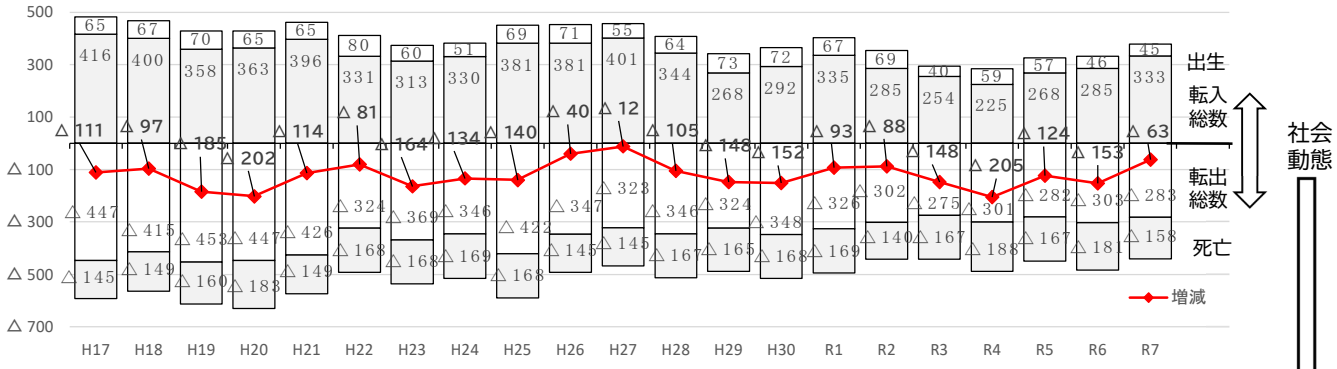


1-(4)地域別・年齢階層別人口構成の推移(65歳以上)



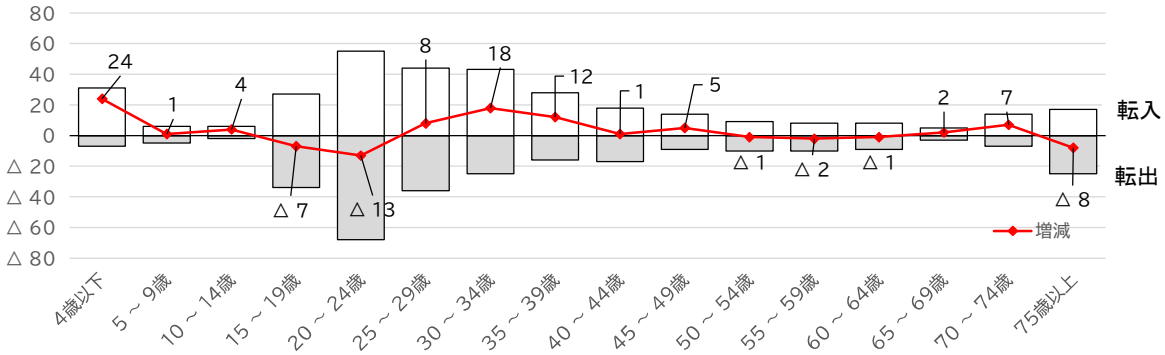


1-(5)人口動態(暦年)



1-(6)年齢階層別の社会動態(令和7年)

（鳥取県の推計人口:R7）



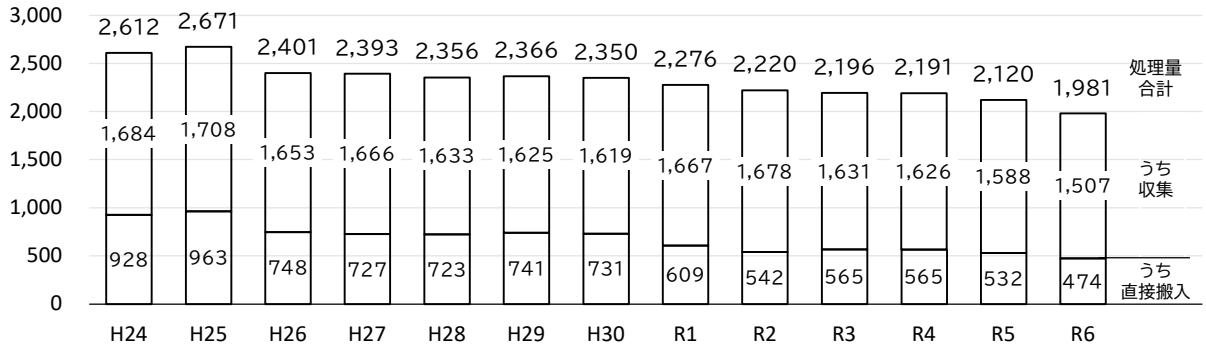
（鳥取県の推計人口:R7）

5

2.ごみ処理の状況

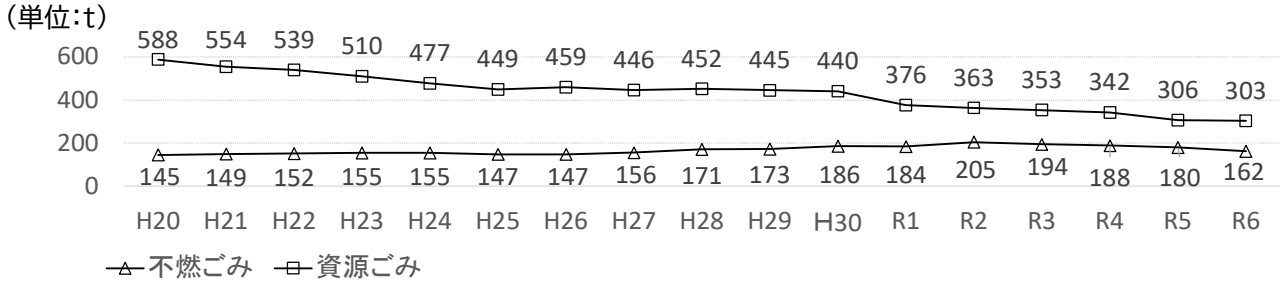
2-（1）■可燃ごみ処理量の推移

（単位:t）



2-（2）■不燃ごみ・資源ごみの処理量の推移

（単位:t）

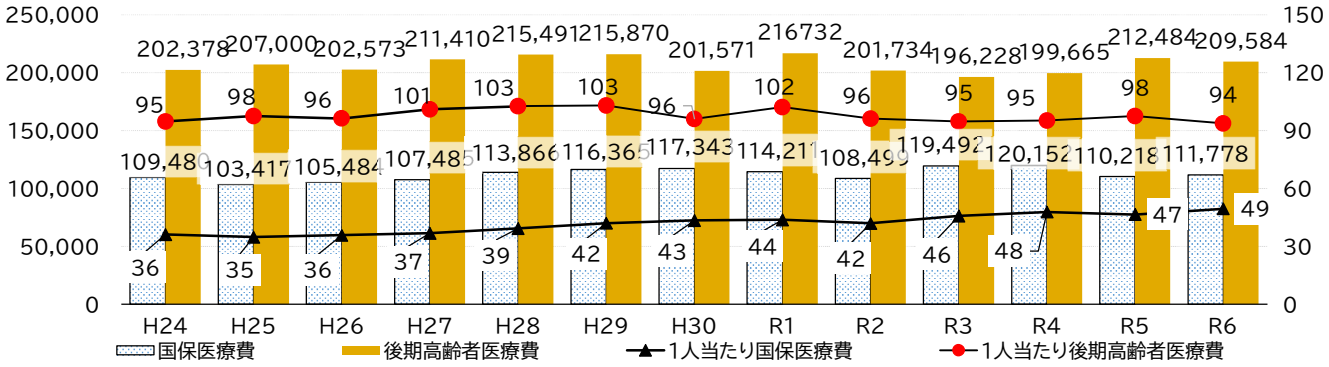


6

3.医療費の状況

国民健康保険医療費・後期高齢者医療費の推移

（単位:万円）



		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
国民健康保険	医療費	103,417	105,484	107,485	113,866	116,365	117,343	114,211	108,499	119,492	120,152	110,218	111,778
	加入者数	2,971	2,951	2,919	2,903	2,784	2,701	2,607	2,592	2,608	2,516	2,368	2,261
	1人当たり医療費	35	36	37	39	42	43	44	42	46	48	47	49
後期高齢者医療	医療費	207,000	202,573	211,410	215,491	215,870	201,571	216,732	201,734	196,228	199,665	212,484	209,584
	加入者数	2,123	2,104	2,092	2,100	2,102	2,100	2,122	2,097	2,072	2,098	2,179	2,236
	1人当たり医療費	98	96	101	103	103	96	102	96	95	95	98	94

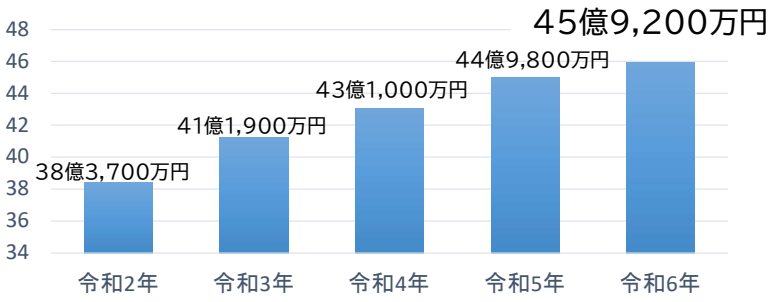
7

4.財政の状況

(1)伯耆町の貯金と借金の額

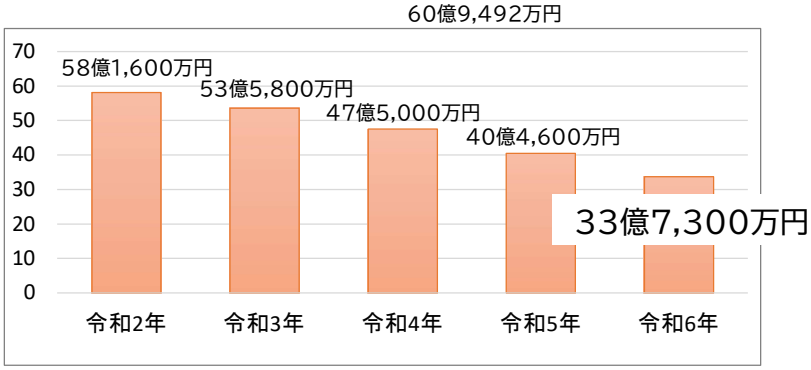
○貯金の状況
貯金残高　45億9,200万円

※過去5年間の推移をみても増加している。



○借金の状況
借金残高　33億7,300万円

※過去5年間で最も少ない額。

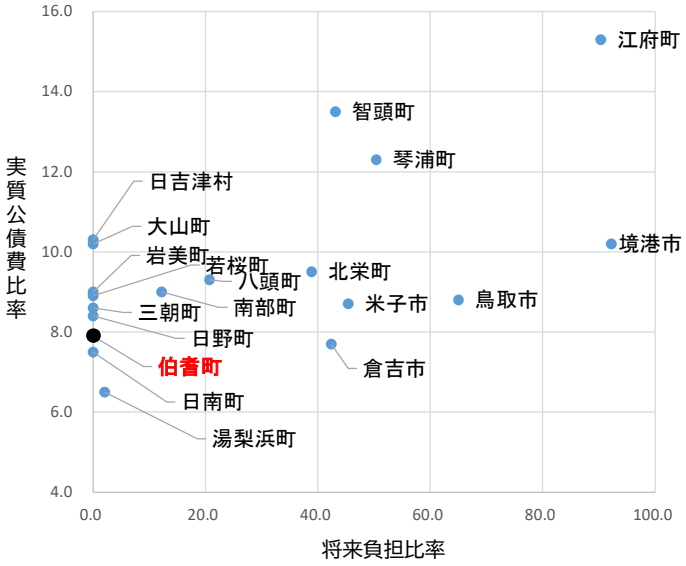


(2)財政の健全性

右のグラフは、令和5年度県内市町村の「実質公債費比率」と「将来負担比率」の状況を表したものです。

財政の健全化が進むとグラフの左下へ、悪化状態になると右上に位置します。

県内における本町の実質公債費比率、将来負担比率は、ともに上位に位置しており、伯耆町の財政状況は健全段階にあります。



比率区分	説明	R2	R3	R4	R5
実質公債費比率	町全体の公債費等の、標準財政規模に対する比率で、過去3か年の平均で示されます。18%を超えると借金するために許可が必要となりますが、伯耆町の数値は大幅に下回っています。	7.7%	6.7%	6.8%	7.9%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率です。	—	—	—	—

※将来負担比率の「－」は、基金などで地方債などの将来的な負担をカバーできるレベルにあることを示しています。

5.第4次伯耆町総合計画(令和8～12年度)





将来にわたり、町民が安心して、
心豊かに暮らすことのできる
『まち』を実現するためには、
様々な社会情勢の変化に対応した
『まちづくり』を進めていくことが必要です。

社会課題

人口減少
少子高齢化
地域経済の停滞
生活様式や価値観の多様化
気候変動による
災害リスクの増大
デジタル化の進展
etc.

その実現に向けた指針として、
『総合計画』を策定します。

総合計画策定に向けて・・・
『未来への継承』

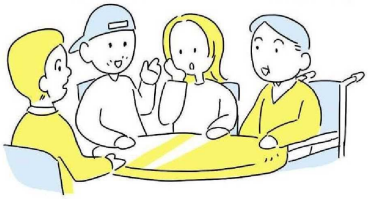
・持続可能なまちづくり
・自然・歴史・文化・伝統の保全
・将来像の共有と協働
・計画の継続

という新たな視点を加え、



さらに・・・

アンケートや**様々な会議**　を通じて、
これからの“まちづくり”についての意見を伺い、



今後の取り組みを
『第４次伯耆町総合計画』
としてまとめました。

◀伯耆町の魅力▶



多彩な観光資源のある町
国立公園大山に代表される自然環境を活用したゴルフ場やスキー場・観光リフト、また自然景観を活かした公園や広場、さらには温泉などの観光・リゾート施設等の多彩な観光資源があります。

多様な住環境を有する町
大山山麓に展開する自然豊かな別荘地、米子市に隣接する生活利便性の高いベッドタウン、自然に囲まれた中山間地と３つの異なる住環境があります

豊かな自然環境に恵まれた町
中国地方を代表する国立公園大山や鳥取県の三大河川の一つである日野川など、雄大な自然に囲まれたうるおいのある環境の中にあります。

固有の歴史と文化をもつ町
白鳳時代の大寺廃寺跡から発掘された石製鴟尾(せきせいしび)や小野小町の墓と伝えられる五輪塔、たたら製鉄の歴史を伝える藤屋炉床や日本最古といわれる鬼伝説など、数多くの文化財や史跡が伝えられています。
また、世界的にも評価の高い写真家植田正治の作品を数多く展示する植田正治写真美術館は町内の重要な文化施設です。

農業と観光・交流が連携する町
様々な特産品が大山山麓を中心とした農業地帯などで生産され、大山ガーデンプレイスや大山望での直売や都市部への供給が行われています。また、観光と地場産品との連携などに取り組んでいます。

◀まちの将来像▶

森と光が織りなすうるおいのまち

～人づくりは町づくり、町づくりは未来づくり～

森とは・・・

大山の深き緑、美しき清流、大地から生まれる恵みを象徴的にとらえて、「自然」を表現しています。

光とは・・・

人と地域の輝き、安心に満ちた笑顔、未来への希望と情熱を象徴的にとらえて、「人」を表現しています。

住む人だけでなく、訪れる人、関係性のある人など、
すべての人に魅力を感じてもらえる
未来に持続していくまち伯耆町 を目指します。

そして、
５つの**基本方針**で**まちの将来像**に向けて
取り組んでいきます。



１．住みよさを感じるまち

２．地域産業を育むまち

３．健やかで心豊かな
人を育むまち

４．健康で安心して
暮らせるまち

５．住民とともに創る
持続可能なまち

◀基本方針①▶

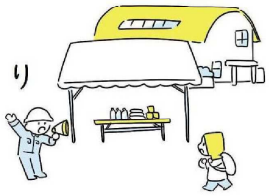
住みよさを感じるまち

住民一人ひとりが、自然や環境に対する意識を高め、地域活動や日常生活の中で、自然を守り、活かすことができるよう取り組みを推進していきます。

また、持続可能な定住環境の維持整備に努め、デジタルの活用や、地域交通の維持など生活の利便性や快適性を高め、住民生活の安全安心を守る消防・防災対策を強化し、暮らし続けることができる「住みよさを感じるまち」を目指します。



【重点】



○災害に強いまちづくり

▶防災訓練の充実
▶避難所環境の整備

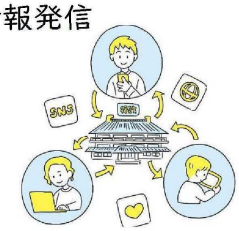


○持続可能なインフラの整備

▶道路橋梁整備の充実
▶上下水道施設の老朽化対策と長寿命化

○デジタルを活かした情報発信

▶ＳＮＳを活用した行政情報発信
▶地域コミュニティの
情報発信ツールの構築



【施策の指針】

・持続可能な地域交通の確保
・スマートシティの実現に向けたデジタル技術の活用検討
・安全で安心して暮らせるまちづくりの推進
・脱炭素社会・循環型社会の実現

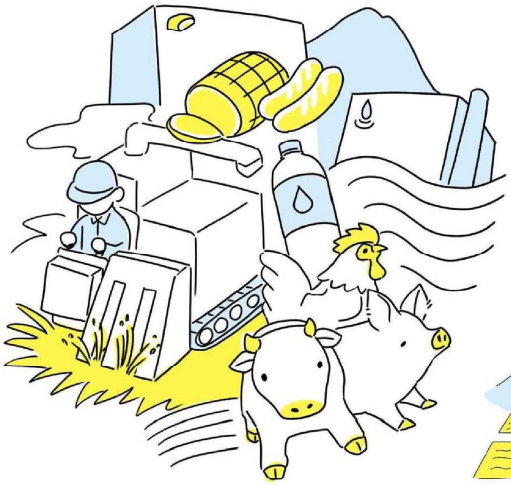


◀基本方針②▶

地域産業を育むまち

まちの活力である産業の活性化や、デジタルを活用した情報発信により、新たな価値の創出やまちの魅力づくりが必要です。

そこで持続可能な農業・林業・畜産業などの推進に向けた支援の強化、広域連携による観光の推進、既存企業への支援や企業誘致の促進、また各分野の連携などによって地域力を創造し「地域産業を育むまち」を目指します。



【重点】

○新たな価値を生む産業支援



▶企業誘致活動の強化
▶スタートアップ・起業支援の推進
▶本気で頑張る産業支援事業
▶農林業・商工業・観光業の連携強化



○持続可能な農業の推進

▶農業者等機械・設備導入支援
▶担い手の育成支援
▶水路・農道等の農業施設整備支援

○デジタルで発信する観光振興



▶ＳＮＳや動画など多様なインターネットメディアを活用したＰＲ活動の強化
▶商工会・観光協会との連携強化



【施策の指針】

・農業生産体制の確立
・鳥取和牛の推進など豊かな食の魅力づくり
・農畜産物の生産、担い手農家への支援
・スマート農業の推進
・広域連携による観光振興と商工業の振興
・企業誘致による地域活性化







◀基本方針③▶

健やかで心豊かな人を育むまち

子どもたちは伯耆町の未来にとってかけがえのない存在です。このため出生率の向上や、子育て環境の充実は、これからのまちづくりには欠かせません。

その上で、子どもたちが地域への愛着を持ち、社会の一員となり、町の将来を担う人材として活躍するためには、学校と地域が一体となって育むことが重要です。

また、生涯にわたる継続的な学びによる自己研鑽や体づくり、そして学んだことを活かす場面をつくり、住民一人ひとりが生涯にわたって主体的に活躍でき、心豊かに過ごすことができる「健やかで心豊かな人を育むまち」を目指します。

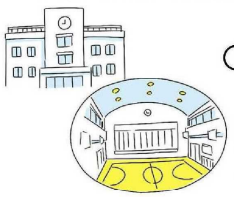


【重点】

○地域への愛着心の醸成



▶ふるさとキャリア教育の推進
▶青少年による地域貢献活動の推進



○つながる学びで育む学力と人間力

▶保小中一貫学力・人間力定着事業
▶教職員研修の充実

○結婚・子育て世代への総合的支援



▶結婚新生活支援
▶妊娠・出産への支援
▶家庭保育への支援
▶教育に係る家庭支援



【施策の指針】

・社会の一員として自立し生きていく児童生徒の育成
・まちぐるみで取り組む教育の推進
・学び輝き続けるための環境づくり
・スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進
・安心して子育てができる環境の整備



◀基本方針④▶

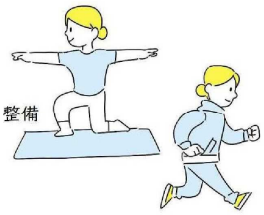
健康で安心して暮らせるまち

健康で暮らせることは誰もが望む願いであり、日常生活の中で健康づくりに取り組むことができ、笑顔でいきいきと安心して暮らせる環境が大切です。

末永く健やかに人生を送るために、健康づくりや介護予防に取り組み、住民一人ひとりが地域の中でそれぞれの能力を発揮し、互いに支え合いながら安心して暮らせる「健康で安心して暮らせるまち」を目指します。



【重点】



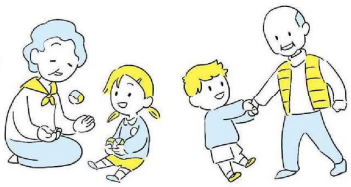
○健康寿命の延伸

▶町民の主体的な健康づくり体制の整備
▶フレイル予防の推進
▶運動習慣の確立・定着化



○安心できる相談体制の充実

▶町全体で受け止める相談支援体制の構築



【施策の指針】

・安心して生活できる仕組みづくり
・いきいきと暮らせる地域づくり
・健康増進と介護予防の推進



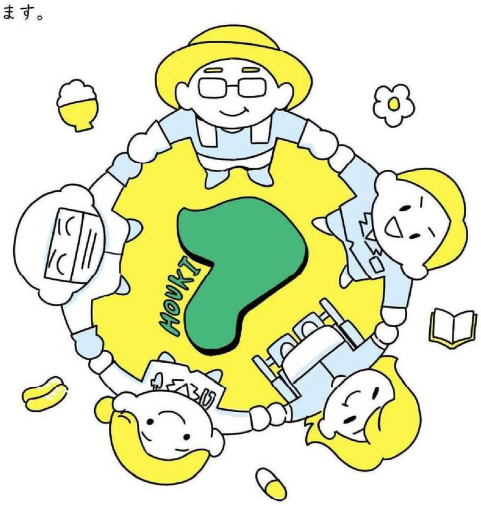
◀基本方針⑤▶

住民とともに創る持続可能なまち

持続可能なまちづくりには、住民の意思や能力を地域の課題解決やまちづくりに活かすことが必要です。

情報公開や広報広聴、また地域コミュニティへの積極的な支援を行い、住民の主体的なまちづくりへの参画を促します。

また、移住・定住の推進により人口減少を抑制し、効果的・効率的な行財政運営により「住民とともに創る持続可能なまち」を目指します。



【重点】



○移住・定住の推進

▶空き家バンクの開設
▶移住定住施策の推進



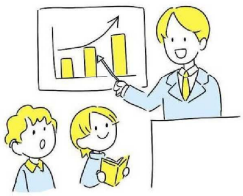
○地域コミュニティ意識の醸成

▶協働のまちづくりの推進
▶集落活性化のための取り組み
▶積極的な行政情報の提供

【施策の指針】

・将来を見据えた行政課題への対応
・住民参画の推進
・まちづくり・地域活動の機能強化
・効果的で効率的な行財政運営







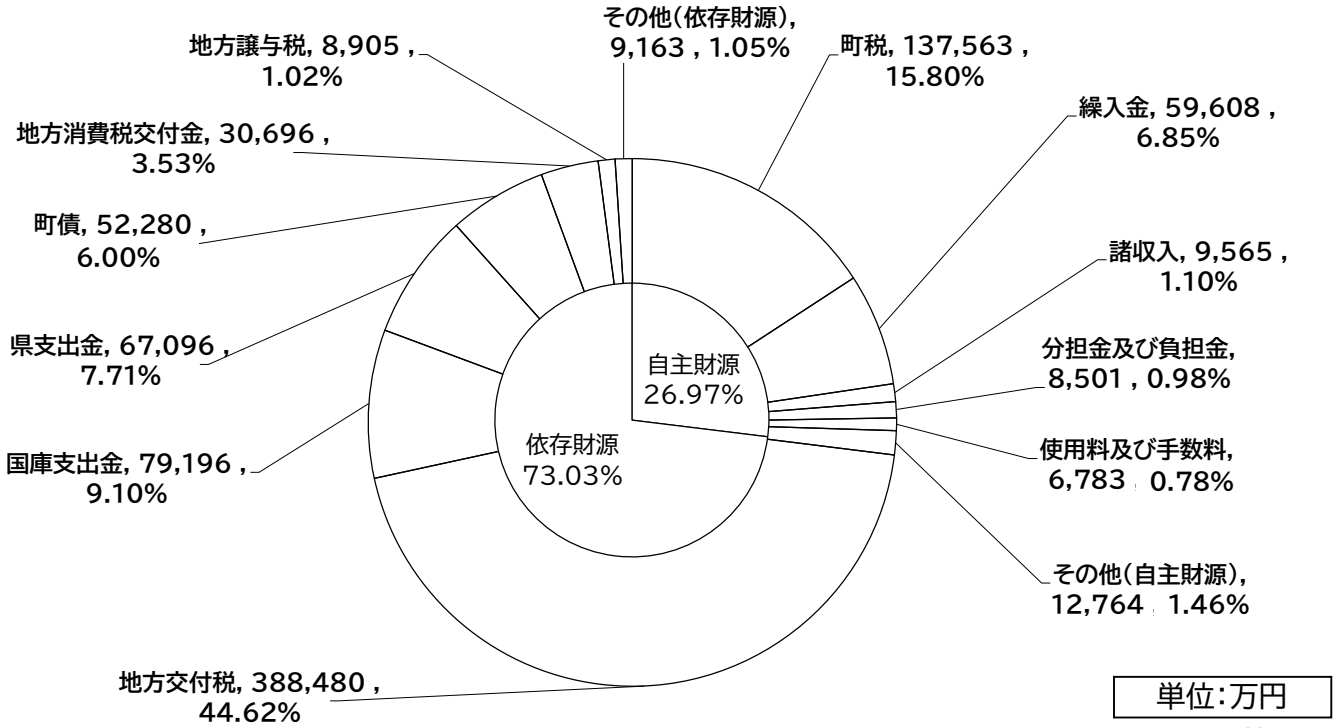


令和８年３月策定

イラスト：sarapo、品岡トトリ

6-(1)令和8年度　一般会計当初予算(歳入)

■歳入予算　87億600万円

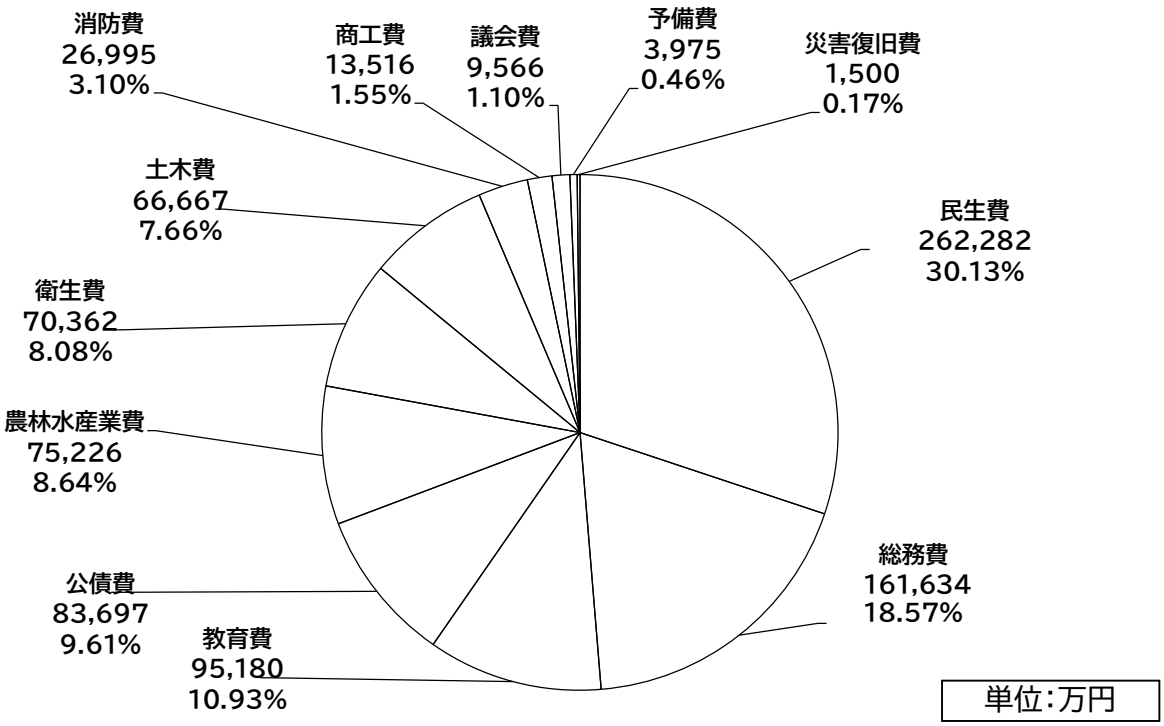


単位:万円

20

6-(2)令和8年度　一般会計当初予算(歳出)

■歳出予算　87億600万円



21

6-(3)令和8年度の主要事業①

1. 住みよさを感じるまち

・災害時移動式トイレトレーラー整備事業

大規模災害時において、避難所のトイレが使用できない場合にも対応できるよう、移動式トイレトレーラーを1台導入します。

・公式LINE導入事業

公式LINEの導入により、スマートフォンから手軽に情報取得やサービス利用が可能となる環境を整備します。簡易な申請の受付を行うなど、住民の利便性向上を図ります。

2. 地域産業を育むまち

・地域連携ふるさと納税返礼品活性化事業

ふるさと納税の取組の強化・拡大のため、専門知識やノウハウを有した地域活性化起業人の受入れを行い、農商工・観光・文化・芸術などの連携や商品の掘り起こし・PR活動等を活性化し、持続的な産業振興を図ります。

・畦畔等除草合理化事業（ラジコン草刈り機購入費）

軽トラックに積載可能なラジコン草刈り機を1台追加導入し、農業者の作業負担軽減を図ります。

・農作業用冷却作業服等購入補助事業

近年の高温、暑熱から農業者を守り、作業中の熱中症対策とするため、冷却作業服等の購入を支援します。

22

6-(3)令和8年度の主要事業②

3. 健やかで心豊かな人を育むまち

・こども家庭センター運営事業

全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、切れ目のない支援を行える相談支援体制を整備するため、子ども家庭センターを設置します。

・給食センター管理事務費（学校給食費補助金）

国の政策による小学校給食無償化に加え、中学校についても給食を無償化し、保護者の負担軽減を図ります。

・放課後児童クラブ運営事業（放課後児童クラブ運営業務委託料）

安定的で効率的な放課後児童クラブの運営を図り、質の高いサービスを提供するため、令和8年10月から放課後児童クラブの民間委託を実施します。

・小中一貫学力・人間力定着促進事業（シビックプライド形成事業補助金）

「伯耆I学習」を柱としたふるさとキャリア教育を充実させ、地域と連携した学びを通じて郷土への誇りと愛着を育みます。子ども達がまちづくりの担い手として主体的に関わる取組を支援するため、「シビックプライド形成事業補助金」を創設します。

4. 健康で安心して暮らせるまち

・インフルエンザ予防接種事業（インフルエンザ予防接種負担金）

勉学等への支援を目的に、令和8年度より、19歳未満の者の2回目の予防接種についても助成を行います。

・認知症対策事業

オンラインによる認知症スクリーニング検査を導入し、早期発見・早期対応につなげます。

6-(3)令和8年度の主要事業③

5. 住民とともに創る持続可能なまち

・単町補助事業の補助率引き上げ

町単独補助事業の補助率引き上げにより、地域活動や生活基盤整備への支援を強化し、各集落で将来を考えるきっかけづくりになることを期待し、地域の持続力向上につなげます。

・移住等支援事業

移住コーディネーター1名、地域おこし協力隊1名を配置して移住相談窓口の設置とデジタル技術を活用した情報発進の強化を図ります。 また、伯耆町版空き家バンクを設置し、空き家の利活用促進を進めます。

・溝口地区移住定住調査事業

人口減少が進展する溝口地区において、地域活性化の担い手となる子育て世代の移住定住住宅や交流拠点の整備に向けて、民間の資金やノウハウを活用する方式の方が、公設公営方式よりも効率的であるかを検証・判定するための調査を行います。

伯耆町

詳しくは、広報ほうき ・ 有線テレビ放送 ・ 伯耆町YouTubeチャンネル
もご覧ください。

伯耆町HP

25